

神奈川県伊勢原市で子育て支援を行う市民活動団体、フェリーチェBambi-ニは、平成二三年に発足した。自分たちが子育てをする中で、子育てに必要な地域情報が不足していると感じた経験から、ほかのお母さんたちも同じように感じているはずと考え、子育て支援のための地域情報誌の発行を始めた。平成二三年一月に創刊したフリーマガジン「フェリーチェBambi-ニ」は、料理や遊び、地域情報など子育てに役立つさまざまな情報を掲載し、伊勢原市を中心に五千部が配布されている。

本プロジェクトは児童学科のサークル「べぐみ」がフェリーチェBambi-ニと連携し、冊子のコンテンツを作成している。担当者より活動の趣旨や冊子の目的等を聞き、見開き二ページを使って子どもの遊びをテーマにした記事を八月と十二月に作成した。さらに、十一月には伊勢原市内で開催された親子向けのいも掘りイベントに参加し、地域のお母さんや子どもたちと交流した。



プロジェクト概要

- テーマ
子育て支援フリーマガジンに子どもの遊びをテーマに連載原稿を作成する。
- パートナー
フェリーチェBambi-ニ(代表 小林孝子)
- 担当教員
田尻さやか 助教(現代生活学部児童学科)
- 担当学生
荒井佑子、竹田百合香、市川千晴、望月愛里、利根川絵美(児童学科3年)
- 実施期間
平成24年7月～平成25年3月

原稿作成は、「どのように書いていたら読者に伝わるか、どんなことを書いていたら読者が楽しめるか」を毎回考えるのが大変だった(荒井佑子さん)。一方で、「皆で意見を出し合い、どうしたらより良い内容になるか、子どもたちがより楽しめるか話し合いながらの作業はとても楽しかったし、勉強にもなった(望月愛里さん)」と充実した時間でもあった。また、子育て中のお母さんに関われたことは「将来保育に関わる仕事に就いた時に活かすことのできる経験になった(望月さん)」と将来の仕事とも結びついている。

現在の学びを活かし、将来の仕事に結び付く経験

子育てお母さん×大学生 意外な繋がりが拓く新たな可能性

児童学の学びを活かした子育て支援プロジェクト

